

観察的疫学研究に関する説明

当院では、腹膜透析患者さんへ衛生環境（マスク・手洗い・交換直前の手指消毒）と腹膜炎・出口部感染の関連性について調査を行っております。

調査名称

腹膜透析新規導入患者における衛生環境と腹膜炎、出口部感染発症の関連性に関する検討

調査の背景

腹膜透析の合併症である腹膜炎は、腹膜透析離脱の最多の原因であると報告されています。川島病院では腹膜透析の自己管理として、マスク、手洗い、交換直前の手指消毒といった衛生環境の統一した指導を行っていますが、在宅では衛生管理を継続できていない場合も多いようです。また、衛生環境と腹膜炎と出口部感染発症の関連性に関しては統一した見解は得られていません。衛生環境と腹膜炎発症の関連性に関する我々の後ろ向きの検討では両者の関連性は明らかではなく、衛生環境を簡素化してもよい可能性が考えられます。

調査の目的

腹膜透析新規導入後の手技が安定した時期（導入後約1年）において衛生環境を聞き取りし、その後の衛生環境と腹膜炎、出口部感染発症との関連性に関して検討します。

調査の内容

記名式聞き取り調査です。

患者さんへ

1. 調査は研究開始後より約3年間です。
2. 腹膜透析を導入してから約1年後に、当院で行った腹膜透析における衛生環境と腹膜炎発症に関する研究結果（別紙）を見ていただきます。そして研究担当者とこれまでの衛生環境を振り返り衛生環境に関して一緒に考えて、今後どの衛生環境を行うかを決定します。そして観察期間内における腹膜炎、出口部感染の発症を調査します。調査期間内で衛生環境は自由に変更できますので、変更を希望される場合には研究担当者にご旨をお知らせ下さい。

プライバシーの保護について

この調査のために研究担当者が患者さんのカルテなどを閲覧しますが、患者さんのお名前など個人を特定する情報は決して院外に漏れることはありません。この調査結果は学会で発表されたり、医学雑誌に掲載したりする予定ですが、患者さんのお名前など個人を特定する情報は発表されません。

問い合わせ先

研究機関 社会医療法人川島会 川島病院外来
研究代表者 奥谷 晴美
電話：088-631-0110